

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アイ・らんど忠生		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性やニーズに応じた支援が行われており、安心して通所できる環境が整っている点。	日々の関わりの中で児童の様子を丁寧に把握し、職員間で情報共有を行いながら個別支援計画に基づいた支援を実施している。また、児童が安心して過ごせるよう環境設定や関わり方の工夫を行っている。	継続的な職員研修や支援の振り返りを行い、より質の高い支援の提供に努めるとともに、支援内容について保護者にも分かりやすく伝えていく。
2	児童が通所を楽しみにしており、活動内容に対する満足度が非常に高い点。	季節のイベントや外出活動など、多様な活動プログラムを取り入れ、児童が主体的に楽しめるよう工夫している。	活動内容のさらなる充実を図るとともに、児童の興味関心や成長段階に応じたプログラムを継続的に検討していく。
3	保護者との情報共有や意思疎通が図られており、信頼関係が構築されている点。	送迎時の対話や日々の連絡を通じて児童の様子を丁寧に伝え、保護者からの相談や要望にも柔軟に対応している。	面談や見学の機会を増やし、より深い情報共有と理解につなげるとともに、保護者の安心感の向上を図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動内容や安全対策等について、保護者への情報発信や周知が十分とはいえない点。	活動や訓練は実施しているものの、その内容や実施状況について保護者へ十分に伝えきれていない。	活動報告やお知らせ、SNS等を活用し、事業所の取組や安全対策について定期的に発信していく。
2	面談や家族支援の機会が十分に提供できていない点。	面談は希望に応じて実施していたため、機会の提供が受動的となり、十分な支援につながっていない可能性がある。	積極的に面談の機会を設けるとともに、保護者が相談しやすい環境づくりを進める。
3	保護者同士の交流や家族支援の機会が限定的である点。	保護者のニーズが多様であり、交流の必要性に対する考え方に差があるため、機会提供が難しい状況となっている。	保護者の負担にならない形で、イベント等を通じた自然な交流機会の提供や、参加しやすい形での支援を検討していく。